

すべてのいのちを守るための月間 2022.9.1-10.4

9.18 — 9.24



キャンペーンの羅針盤である 回勅『ラウダート・シ』『兄弟の皆さん』とともに この月間をすごして いきましょう

TOGETHER WE

ともに 「すべてのいのちを守るための月間」を よりよく過ごすために

9/18

(日)

わたしたちは、気候変動には差異ある責任があるということを意識し続けなければなりません。

「強力な利害関係に押されがちな議論においては、とくに、
貧しい人、弱い人、傷つきやすい人の必要」にもっと関心を
払うべきです。わたしたちは一つの家族であるという自覚を
深める必要があります。

LS § 52

9/19

(月)

世界中の社会組織はいまだ、女性が男性と完全に同じ尊厳と寸分たがわぬ権利を有することを明確に反映しているとは、およそいえません。

事実、「疎外され、虐待され、暴力を受け苦しんでいる女性は、二重の意味で貧しいのです。なぜなら、しばしば彼女たちには、自分の権利を守る可能性がほとんどないのです」。

FT § 23



9/20
(火)



真のエコロジカルなアプローチは、つねに社会的なアプローチになるということ、すなわち、大地の叫びと貧しい人の叫びの双方に耳を傾けるために、環境についての討論の中に正義を取り入れなければならないということです。 LS § 49



9/21
(水)

人間的で兄弟的な社会とは、必要最低限のものが保障されるだけでなく、多くの利潤を生まないとしても、時間がかかろうとも、効率とは程遠くとも、その人がベストの力を発揮できるよう、だれもが人生の旅路において寄り添いを得ることが、効率的かつ安定的に保障されるよう努める社会です。

FT § 110

9/22

(木)

わたしたちは、対話、落ち着いた話し合い、あるいは熱い議論を通して、ともに真理を探し求めることができます。

「真の対話の精神があれば、相手のいっていること、していることを、自分の信念とすることはできないにしても、その意味を理解する力が培われます。そうすることで、誠実になり、自分の信じていることをごまかさずに、語らうこと、接点を探すこと、そして何よりも、……ともに働き闘うことを続けられるようになる」からです。 FT § 50・§ 203

9/23 (金)

神にせつに願います。「思想、言語、文化、宗教の違いを超えて、兄弟姉妹と会えるよう、わたしたちの心を整えてください。いつくしみの油をわたしたちすべてに注ぎ、過ち、無理解、不和の傷をいやしてください。わたしたちが、謙虚さと柔和をもって、平和を求める、厳しくとも実りある歩みへと遣わされますように」。

FT § 254



9/24 (土)

社会に向かう愛と共通善への取り組みは、個人間のかかわりだけではなく「広範な関係（社会、経済、政治）」にも影響する愛徳の傑出した表現です。それゆえ教会は、「愛の文明」という理念を世界に示したのです。社会に向かう愛は真の発展への鍵です。

社会に向かう愛は、日々のささやかな言動を重視しつつ、環境悪化を食い止め、また「ケアの文化」を促進し社会全体に浸透させる、もっと大掛かりな戦略を考案するようにとわたしたちを駆り立てます。

LS § 231